

# 君の湯

Kiminoyu  
(東京都文京区)



久しぶりに東京の銭湯へやってきた。今回紹介するのは文京区の君の湯だ。君の湯は通常の銭湯の形態をとりながら、珍しく東京都浴場組合に加入していない銭湯である。なぜ加入していないのか。理由を取材するのを完全に失念していたが、想像するに、加入して組合費を払うほどのメリットはないと経営者が判断したためであろう。組合に加入すれば、他の銭湯とともに、組合が広報活動を推進してくれる。しかし、地元で十分な固定客を確保している銭湯には、その広報活動は必要ないであろう。それにインターネットが発達した現在、独自の広報活動をするのはそれほど難しくはない。また、組合に非加入であれば、組合が推進する様々なキャンペーン（スタンプラリー、回数券の取り扱い、年中行事等）に従う必要もない。

君の湯の入浴料は、組合に加入していないことにより、自由に設定できることになった。ただ、法律上の上限を超えることはできない。組合に加入している銭湯は上限ぎりぎりまで入浴料を設定しているが、君の湯の入浴料はそれよりも50円も安く設定されている。この料金設定は利用者にはとてもありがたいことであろう。毎日50円節約できれば、年間で15,000円以上の節約になるのだから。利用者の観点から言えば、銭湯が組合に加入してコストをかけることは、何のメリットもないのかもしれない。実に皮肉だ。

ところで、君の湯の屋号にある「君」とはいったい誰のことなのか。これは少々気になるところだが、こちらも取材をすることを完全に失念した。経営者の大切な人（配偶者とか）なのか、客なのか、それ

とも天皇なのか。謎である。

君の湯の建物は昭和 36 年築。かなり古い。しかし、恐ろしく手入れが行き届いており、非のつけどころがない。中に入るとフロントとロビーがある。このスペースを確保するために、脱衣室は少々狭い。脱衣室にはロッカーが 37 個。このうち 3 つだけは、縦長の金属製のロッカーだ。これらは大きい荷物を持つ客向けである。尚、脱衣室の天井は格天井だ。

浴室に入る。浴室は伝統的な大江戸銭湯のスタイルだ。手前の洗い場は 22 か所。両側にシャワーブースが合計 2 か所ある。桶は黄色いケロリン。

浴槽は 3 つあり、左から座風呂 2 人分、パイプラの浅風呂、薬湯の深風呂である。湯温は前者 2 つが 40℃を示しているが、実際にはやや熱めの温度だ。薬湯は 37℃を示しているが、こちらは適温。本日の薬湯はヘルスビューティー社の「温浴素じっこう」。ヘルスビューティー社は 2009 年に設立された新しい会社だが、従来同様の入浴剤を銭湯へ販売していたヘルスケミカル社のファミリー企業となっている。ちなみに、ヘルスビューティー社によれば、じっこうは「冷え症、肩のこり、腰痛、神経痛、リウマチ、疲労回復、産前産後の冷え症、荒れ性、ひび、しもやけ、あかぎれ、しっしん、あせも、にきび、うちみ、くじき、痔」などへの「効能、効果」が期待できるとのことだ。

浴室のペンキ画は、オーソドックスに富士山。女湯側に中島絵師による作品であることが記されていたという。

君の湯を出た取材班は、君の湯の近くにあり、派手で怪しげなネオンサインを掲げる「ABC」という洋食屋で打ち上げを行った。安い、うまい、早い。三拍子が揃った店である。おすすめは黒いカレー。なぜ黒いのか。謎である。

その後は、大塚駅の北側まで移動し、立ち飲み屋「晩杯屋」で 2 次会。この店の中の貼り紙が実におかしい。暴力をふるった客は出入り禁止だとか、警察署の電話番号をでかでかと表示している。考えてみれば、立ち飲みなら勢いですぐに喧嘩を始めることができる。それだけに、立ち飲みするには気合が必要だ。誤って殴られないためにも。

現在日本の各所でラグビーのワールドカップが開催中であるが、外国からきている人々は、日本の文化にも触れあっているのだろうか。銭湯、洋食、立ち飲み、いずれも日本固有の文化に違いない。

君の湯のような、古く、清潔で、安価な風呂が味わえることに感謝しつつ、取材は終わった。

#### DATA

名称	君の湯
所在地	東京都文京区大塚 6-10-9
電話	03-3941-9234
営業時間	15:00~23:30
定休日	土曜日
入浴料	大人 430 円、中学生 300 円、小学生（6 歳～12 歳未満）150 円、6 歳未満 50 円
サウナ	あり
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2019 年 10 月 3 日（木）
取材	銭湯愛好会東京支部